



4月から女性消防団を組織 被災者に寄り添う力を強化

令和8年4月から宗像市消防団女性班を女性消防団として分団化しました。

女性班は平成9年に消防団本部内に創設され、防火指導や救命講習など、主に平常時の防災・防火啓発活動を担ってきました。今回の分団化により、女性や子ども、高齢者に配慮した避難所運営や被災者支援にも対応できる体制に強化されます。

災害現場での指揮命令系統が明確になり、円滑な対応につながるほか、団員一人ひとりの責任感と誇りの醸成を通じて、消防団活動の活性化につなげます。



《救命講習》



《健康づくり体操》

【宗像市消防団17分団(女性分団) 概要】

団員数：18人

年齢：平均53歳(20代2人、30代1人、40代4人、50代6人、60代4人、80代1人)

発足：平成9年4月に女性班として創設、令和8年4月に分団化

これまでの主な活動：防火指導、救命講習などの防災・防火啓発活動

今後の活動：避難所運営支援、被災者支援、要配慮者への対応など

特徴：女性消防団員の分団化は県内3例目

【補足】

本市では、西山断層帯による地震や大雨による土砂災害など、長期災害につながるリスクが懸念されています。こうした中、従来の女性班は平常時の防災啓発活動が中心でしたが、今後は避難所運営や被災者支援にも対応していきます。高齢者や乳幼児など要配慮者への配慮、被災者の要望の聞き取り、避難所生活における健康の2次被害防止など、被災者に寄り添った支援を行います。

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市危機管理課 担当：成瀬、川端 TEL：0940-36 5050